

## 令和三年度 高知市立南海中学校 立志式 式辞

二年生の皆さん、いよいよ立志式当日になりました。緊張していますか。適度な緊張は、集中していい仕事をするためには必要なことなのだそうです。ぜひ、その緊張を発表のエネルギーに変えてほしいと思います。

南海中学校の三つの校訓の一つに、「立志」があります。立志とは、「志を立てること。将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする事」です。南海中学校の立志式は、一年生の入学式、三年生の卒業式と並んで、二年生で行う大きな学校行事です。

立志式は、日本古来の成人式でもある「元服の儀」にちなんだもので、十五歳になる年の立春に行われていた行事です。大人になるにあたって、将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深めたり、誓いを立てたりする機会とするものです。また、今まで育ててもらった両親や周りの人に感謝するという意味もあります。

皆さんは十八歳になると選挙権が与えられることは知っていると思います。さらに、今年四月一日に「民法」という法律が改正され、成年年齢が十八歳に引き下げられることになっています。つまり、高等学校に進学したとすると、高校三年のときの誕生日が来ると、未成年から「成年」となるというわけです。今年度、十四歳になる中学二年の皆さんは、早い人だとあと三年と少し、四年後にはほとんどの人が成年、つまり成人となります。

大人になると、自分の判断で自由にできることも増えますが、その分、社会や人に対して責任を負わなくてはならない立場にもなります。

今からの四年間、つまり中三から高校生にかけての期間を、自立した大人になるための準備の期間としてほしいと思います。

さて、新型コロナウイルスとの戦いもまもなく三年目に入ります。思い返すと、今の二年生の皆さんは、小学校生活を終える直前の三月初めに学校が臨時休校となり、なんとか卒業式は行えたものの、小学校生活を十分締めくくることができないままの卒業となってしまいました。また、希望を胸に入学した中学校でも、すぐに再度の臨時休校、結局、五月の終わりまでトータル三か月もの間、自宅での学習となり、小学校から中学校にかけての学校生活を整える時間を十分持つことができませんでした。

そんな中でも、南海中学校での皆さんは、逆境に負けることなく、友達どうし認めあい、支えあい、学びあって、授業や学級活動に参加することができました。

また、そのような辛く長い時間を過ごした皆さんだからこそ、家族や友達の大切さや、学校という場で当たり前の日常生活ができることのありがたさ、人とのつながりの尊さを知ることができたのではないのでしょうか。

実際、この一年間、授業や学校行事などで、友達と協力して頑張る姿やお互いに励まし合って最後までやり遂げようとする姿を幾度となく見せてもらいました。このような状況の中で、限られた条件の中で、できる限り精一杯のことをし、また楽しもうとする皆さんの姿に、いつも驚か

され、感心しています。

本日は、このあと、テレビやラジオでおなじみの「ツーライスの大ちゃん」こと峯本大策さんのお話をお聞きすることになっています。大ちゃんは、お笑いを職業として選択され、さらに高知の活性化のために奮闘されています。お笑いを追求する職業人として、また人生の先輩として楽しく、元気になるお話をお聞きできると思います。

保護者の皆様、本日はこのような形での式となってしまう、参列いただけなく本当に残念です。子どもたちは、職場体験や企業見学が難しい中でも、懸命に将来のことを考え、思い浮かべて、この式に臨んでいます。映像を通じてですが、子どもたちがどのような言葉や表現で、自分の将来や夢について語ってくれるのか、楽しみながらお聞きいただきたいと思います。そして、各ご家庭でこれから先のことについて「大人どうし」の話が盛り上がることを大いに期待しています。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

令和四年一月二十三日 高知市立南海中学校 校長 廣瀬 啓二